

平成 30 年 5 月 12 日

午前 10 時～12 時

## 第 6 回 防犯カメラ設置検討委員会

1. 荒木 前自治会会長挨拶

黒田 自治会会長挨拶

仲台 防犯交通委員長挨拶

事務局 挨拶

メンバー自己紹介

2. 経過説明、事務局の役割について

3. 議題

(1) 前回第 5 回議事録の確認 (30 分)

(2) 今回提出の提案書について検討 (60 分)

4. 次回 検討委員会開催予定 30 年 6 月 9 日 (土曜日)

この議事録(案)は、5月6日に各委員にポスト投函で配布された。

**防犯カメラ設置検討委員会  
第5回 議事録 (案)**

**設置検討委員会作成**

日 時 : 平成 30 年 4 月 14 日 (土) 10:00~12:00

場 所 : 白銀西集会所

出席者 : 荒木自治会長、川嶋防犯・交通副委員長、佐藤総務副委員長、  
森岡環境美化委員長、倉島陽検討委員会委員長、大谷洋機委員、  
久木孝之委員、押木幸也委員、稲垣光世委員、花沢吉里子委員、  
岡本重夫 記

1 荒木自治会長 挨拶。

自治会引き継ぎについて。

会計年度、区切り改訂について検討中。

防犯カメラ設置検討委員会について次年度に引継ぎ中。

多数派意見と少数意見も提案書に取り組むように検討する。

2 倉島委員長 挨拶

提案書をメールで配布。

電子メールで配布してよいか。

2 時間と短い会議のための資料提供であればよいのではないか。

電子メールが使用できない人には、印刷して配布する。

3 議題

(1) 提案書案説明

提案書案を配布し、内容に関して久木さんより説明があった。

(2) 提案書に対する意見の集約

佐藤さんの意見書を各メンバーに配布し、項目ごとに検討した。

① 提案理由

・設置目的を詳しく説明する。但し、犯罪に関しないものは、プライバシー保護のため、条例により使用ができない。計画的な犯罪に関しては効果が無い。

→ 犯罪をさせないことに効果がある。

・「本提案を…安心安全を確保し」とあるが、設置目的がこれだけでは説明不足であるので、防犯カメラの設置が安心安全にどのようにつながるのか述べる必要があるのではないですか。

→ 追加します。

・犯罪抑止効果だけでなく、他の効果も(行方不明の子供や高齢者、不審者、交通事故など)具体的に書いた方が良いのでは無いのですか。

→このような効果は、法令上プライバシーの問題で期待できない。

・市の条例により、カメラ近傍に表示板設置の義務があるので、計画的な犯罪には効果がないのではないかと。

→ 防犯カメラの効果は、犯罪者にとって計画段階で犯罪場所から白銀を除外させることに効果がある。

・バスや徒歩で侵入する犯罪者は、カメラに写らない可能性が高いのではないですか。

→ コストパフォーマンスを考えると車の犯罪に対応するしかない。また、犯行後の盗品の運搬や逃走を考えると、くるまを対象と考える。

## ② 計画

・カメラ7台の設置場所を指定し、その現場写真がほしい。

→ ボランティア防犯パトロール時に撮影し協力する。

・設置場所の選定理由を、「効果のありそうな出入り口」だけでなく、もっと詳しく書く必要がある(ここに設置すると、人と車の出入りをチェックできる、等)。

→ 防犯パトロール時に撮影し協力する。

・コスト面から、設置場所のポールに、現在の街灯が使えるところはないのでしょうか(風で揺れやすくなるなどの弊害もあるかもしれないので要検討)。

→ 市などの許可を得るのは厳しい。

・設置する防犯カメラの要求仕様は何か？ 撮影範囲や解像度、1秒間のコマ数、赤外線機能は街灯の近くだと必要ない等、設置場所によって異なる可能性があります。例えば、撮影範囲は大福寺公園前の交差点は広範囲の映像が必要だが、白銀公園入り口は割と狭くて良いのではないのでしょうか(P.

→ 機種を変えて安くするメリットより、購入数を増やして安くする方が大きい。実施段階で検討する。

・予算が300万～610万では、差が大きすぎて住民は判断に困るのではないですか。

→ 安取りする。

・予算措置、共用施設特別会計 980 万円の中から出すことの意味を書く。どのような主旨で持っているお金かと言うことを知らせる必要がある。

→ 共用施設予算は集会所の再建設に充てる予定であるが、集会所の建て替えは、市の補助を考えると10年以上後になる見込み。

・カメラ設置の実施には、見積仕様の作成(どの業者が安く確実な施工ができるのか比較が必要:設置場所を具体的に指定、申請作業はどれを業者に依頼でき、支援して貰えるのか)

→ 設置が決まってから、発注は自治会で行う。

## ③ 行程

・事前協議は他にもあり(警察、近隣住人、土地所有者、電力会社)、誰が協議をやるのですか。

→ 自治会

・賛否の判断はアンケート回答者の1/2でよいのか。カメラ設置費用は高額なので、3/5、2/3というのもあり得る。

→ どの値でも、数値の根拠が必要となるので、過半数が妥当。

#### ④ 関連法規

・市の条例の要点(義務・申請内容)を書けば、添付資料とする必要はなく、参考として条例が掲載されているURLを書いておけばよい。「…条例施行規則」についても必要。

→ 全員を対象とする配布に関しては、自治会で方法を決めてもらう。

#### ⑤ アンケート実施のための参考事項

・プライバシー保護と監視:「佐倉白銀ニュータウン自治会防犯カメラの設置及び運用に関する基準による」

→ ひな形を添付する。

・提案書が自治会で受け入れられ、アンケートの結果もGOとなった場合、「防犯カメラ設置に向けての作業」をまとめておく必要がある。誰がやるのが問題。

→ 自治会

◎カメラ設置工事の見積仕様書・見積比較・発注・検収

◎市への申請書作成

◎上記の基準作成、

→ 補助金を受ける場合の概要は示してよいかも。

◎関係各所との話し合い(東電への申請は業者にやってもらえるが、他の申請等は自治会側の仕事)

→ 記載のみ

・「カメラ設置後の運用・維持管理」についてまとめておく必要がある。

→ 記載のみ

◎運用方法:取扱責任者:統括管理人は何をやればよいのですか。実際にやるだけの時間的余裕がありますか(現在、自治会では統括管理人2人と管理人2人を雇用しているが、これはそれだけの仕事があるからではないですか)。

→ 記載のみ

◎運用方法:警察がやるのは重要犯罪の時だけ、比較的軽微な犯罪の場合に映像チェックするのか(どうするか「佐倉白銀…設置および運用に関する基準」に書く必要があると思う)。チェックする場合、一般住民では人や車の映像から犯人を見分けるのは難しいが、そんなことができる人はいますか。

→ これらの作業は法令上できない。

◎運用方法:犯罪だけでなく、高齢者・子供が行方不明、不審者の特定などにもカメラの映像を利用することはあると思われるが、誰が映像をチェックしますか(7台のカメラの数日分のチェックが必要な場合もある)。

→ これらの作業は法令上できない。

◎維持管理:カメラの点検(頻度・作業内容)、点検チェックシート作成)は、誰がやるのですか。業者委託なら、費用発生。

→ 記載のみ

◎維持管理:故障かなと言う時の対応(維持管理を業者委託なら不要)。

→ 記載のみ

◎維持管理:次回のカメラ更新に対する予算も必要だが、値上げ?

→ 記載のみ

#### 4. 今後の取扱

他の意見がないか確認したが無いようなので、今回、提示された 意見を整理し提案書に追加する。

次回 委員会(5月12日)に 参加される新会長に 最終提案書を提出する。

倉島委員長より 検討委員会を継続希望の方はおられますかとの 質問に賛意を示した方はなく、検討委員会は 終了となった。

今後の方針は(アンケートを再度とるかどうか)は新自治会がきめる。

#### 5. その他意見

・住民同士仲良く連絡しあえば犯罪は発生しない。(カメラ不要)

→ 3月に車上あらしが発生している。これらを防ぐためにもカメラが必要

・提案書へ前回のアンケートに対する意見を採り上げてほしい。

・事件発生時防犯カメラの内容確認は全箇所するのですか。

→ 警察の要請により、自治会が許可し、警察が確認する。

・住民の方々は、提案書が説明不足でよく分からないと思ったら、何百万円も費用が必要なことから「反対」という判断になる可能性が高くなるのではと思います。

・自治会や統括管理人の仕事量が多いと、業務の省力化に反するとの理由で自治会(防犯交通委員会)に拒否される可能性があります。もし、防犯カメラ運営に関して、当該年度の自治会が受け入れたとしても、その業務は後年の班長にも負担となるものである。ほんとうに自治会の業務として受け入れて良いかを考えるべきである。

・それに、自治会(防犯交通委員会)に仕事を押し付けても、うまくゆかないのではないか。例えば、行方不明者や犯罪に対応するため、できるかどうかはともかく急いでカメラの映像をチェックする必要があるといっても、すぐ対応できるとは限

らない。自分の仕事や用事で今はできないと言われたらどうすればよいのだろうか。

ちゃんとした運用体制を確立できなければ、カメラ映像だけを撮っても有効活用ができないことになる。

・数年後、大きなテロなどが発生した場合など、国・市・警察などが防犯カメラ設置に向けて全国への普及に動き出す可能性がある。(中国では、現在でも 1.7 億台を国が設置、今後 3 年間で 4 億台になるとのこと。AI機能のカメラも 2000 万台設置済み。日本とは国柄の違いがあるので、単純には比較できないが…)

6. 次回第6回開催日 2018年5月12日(土)10:00～

打ち合わせ項目は下記とする。

1. 4月の議事録を確認する
2. 提案書を完成させる。

## 提案書（案） rev.2

### 1. これまでの検討経緯と防犯カメラ設置検討委員会の役割

#### 1.1 検討経緯

- ・ H29/4/23: 第 26 回定期総会で、防犯カメラ設置の要望があり、会長より新年度の担当委員会で検討する旨の回答がなされた。
- ・ H29/5/13: 自治会 防犯交通委員会は検討を開始した。その活動状況は、第 27 回定期総会議案書 P.10 に報告されている。
- ・ H29/10/14: 班長会にて、「防犯カメラ設置についての住民アンケートのお願い（案）について」が審議され、アンケート実施が承認された。
- ・ H29/10/28: 「防犯カメラ設置についての住民アンケートのお願い」が実施された。主旨は「賛成の方が多い場合は、公募により専門委員会を設置し、検討を進めたい。」である。アンケートの結果は、総数 1,118 の内、賛成 862、反対 256 であった。
- ・ H29/11/25: 「防犯カメラ設置検討委員会プロジェクトチーム委員の募集について」により、防犯カメラ設置検討委員会が設置された。

1.2 検討委員会は、H29/12/09 から H30/xx/xx まで、月 1 回開催し、H30/xx/xx に自治会に答申するに至った。

1.3 防犯カメラ設置検討委員会の役割は、関係諸事項を検討し、「白銀ニュータウン自治会で防犯カメラを設置する」としたらこのような案ですという「提案書」を自治会に答申することである。

1.4 委員会の議事録および検討に使用した資料は、白銀ニュータウン自治会ホームページ→各委員会→防犯交通委員会(防犯カメラ検討委員会)を参照のこと。(検討資料も公開するか？ 各社の見積書は？)

### 2. 防犯カメラ設置の狙いと効果

防犯カメラ設置の狙いは、究極的には白銀ニュータウンの安心安全を確保し、住みよい町にすることに貢献することである。その貢献としては、防犯カメラで「監視している」ことによる犯罪抑止効果が期待される。さらに「重大犯罪が起きたときの証拠を確保し、警察の犯罪捜査に協力すること」も重要な目的となり、実際に犯人逮捕に貢献できたならば、投資効果は絶大であったという評価になるのかもしれない。一方、それは市・国・警察のやることで、自治会の役目ではないとの考えもある。

佐倉市においては条例で、カメラ近傍に表示板設置の義務があるので、計画的な犯罪者が下見を行い、撮影範囲外で行動した場合には効果がないのではないかと疑問も生じる。さらに、人や車など、どのようなものを撮影対象とするかの問題もあり、白銀ニュータウンでは人と車の出入り可能な場所が非常に多いという地理的条件もある。3.2 に示すように、車についてはほぼその出入りをとらえることができるが、バスに乗って白銀 3 丁目バス停で下車して歩行者になる場合には、防犯カメラに映ることを避けることが可能となるので、抑止効果は限定的かもしれない。

### 3. 設置台数と設置場所の候補

3.1 白銀地区に防犯カメラを設置する場合、カメラに考慮されるべき必要な機能としては、下表のように幾つかあるが、通常市販されている屋外設置用の防犯カメラを使用であれば、防犯カメラの設定を適切に行うことにより、問題ない機能を発揮できる。

|                            |                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 撮影範囲                       | 撮影範囲はデジタルカメラのズーム機能と同様に設定できる。画角は概ね、横 110°～30°、縦 60°～20°のものが多い。<br>3.2 の設置場所を想定した場合、撮影範囲は横 7～20m、縦 5～10m になる。                                                                                                                             |
| 解像度                        | 最大 1920 x 1080（約 200 万画素）であれば十分である。1280x780（約 100 万画素）、960x540（約 50 万画素）などの設定も可能。<br>防犯カメラの映像で、車のナンバーを判読できるのかという問題がある。カメラの映像は、遠近法、すなわち近くのもの大きく、遠くのものは小さく映るので、一概には言えないが、例えば、横幅が約 10m の範囲を解像度 1280x780 で記録すれば、車のナンバーは画像解析によって判読できると考えられる。 |
| fps<br>(frames per second) | fps とは 1 秒間のコマ数である。TV やビデオは 30fps であるあるが、防犯カメラは、SD カードなどの記憶媒体に間引きして書き込んでいる。防犯カメラの場合、5～10fps で記録すれば、時速 40km で走る車の動きを捉えられる。                                                                                                               |
| 記録可能時間                     | 防犯カメラは常時撮影し、映像データを SD カードなどの記憶媒体に記録し、最も古い映像に新しい映像を上書きしてゆく方式である。<br>したがって、映像データの記録時間は 128MB の SD カードに書き込みの場合、目安として約 200 万画素、6fps だと約 10 日、約 100 万画素、12fps だと約 20 日である。（映像データの情報量によって異なる）                                                 |
| 夜間撮影の可否                    | ほとんど暗闇でも赤外線撮影機能を持っていれば、モノクロ撮影可能である。                                                                                                                                                                                                     |
| 映像データの取り出し                 | 映像データをカメラから取り出す方法は、①SD カードをカメラから取り出し、パソコンで読み取る、②パソコンをカメラの近くに持って行き、無線ランでカメラ内に記憶されている映像データを取り込む、の 2 通りがある。<br>なお、インターネット機能を利用する方法もあるが、市の条例で禁止されている。                                                                                       |

3.2 設置台数および設置場所の候補地は、7 箇所（7 台）である。（資料 1）

| 番号 | 設置場所の候補地         | 撮影の狙い                      |
|----|------------------|----------------------------|
| ①  | 消防署近傍の 1 丁目入口    | 消防署近傍から 1 丁目住宅への人と車の出入りを撮影 |
| ②  | 大福寺公園前の交差点       | 1 丁目と 3 丁目の人と車の通行の出入りを撮影   |
| ③  | 白銀公園入口（テニスの壁打ち側） | 白銀公園入口の人の通行を重点撮影           |
| ④  | 西集会所の裏山の道路       | 2 丁目住宅への人と車の通行の出入りを撮影      |
| ⑤  | 尾山公園             | 3 丁目と 4 丁目の人と車の通行の出入りを撮影   |
| ⑥  | ホンダ付近の 4 丁目入口    | ホンダ近傍から 4 丁目住宅への人と車の出入りを撮影 |
| ⑦  | 東集会所近傍           | 消防署近傍の 1 丁目住宅への人と車の出入りを撮影  |

3.3 設置する防犯カメラで、白銀地区における車の通行は、ほとんど撮影可能であるが、徒歩の場合、白銀の住宅地に入ることができる場所は非常に多岐に亘っている（例えば、4丁目のJR線側に広い範囲で斜面があるが、これを徒歩で登れば住宅地に侵入可能である）ため、人の通行の全てを撮影することは難しい。そのため、人通りの多い場所を重点的に撮影することとした。

#### 4. 費用・耐用年数

- 4.1 設置費用は、防犯カメラおよび取付治具、付属装置（無線ラン等）、カメラ設置用ポール材料・工事費、カメラ取付および配線工事費、佐倉市等の申請・打ち合わせ資料作成補助費、電力会社申請費等である。これまでセキュリティ会社等の4社に費用の見積を依頼し、その結果を資料2に示すが、各社の見積額は約300～610万円（税抜き）であった。このばらつきは、見積条件を明確にしなかったため、各社が独自にポール設置工事や補助作業を想定して費用を見積もったためである。しかしながら、各社の見積書を総合的に勘案すると、実際の費用は7台分で350±50万円（税抜き）ではないかと考えられる。防犯カメラ設置が、自治会として正式に決定されたら、見積条件を統一して各社に依頼する必要がある。なお、コスト削減のため、防犯カメラを既存の電柱または防犯灯のポールに設置することが考えられるが、新規の専用ポールに設置することとする。理由は、電柱は比較的簡単に昇降できるので、盗難の恐れがある、また防犯灯のポールは防犯カメラを追加設置すると重くなり風で揺れやすくなるためである。
- 4.2 その他、維持管理費（運営方法にもよるが、15～30万円/年）と消耗品費（業務用SDカード128GBの場合：3万円×7枚×2セット＝42万円）、電気料金（1台：約1.5万円/年）が必要となる（いずれも、税抜き）。カメラ設置用ポールの土地借用費用や管理責任者と取扱担当者の報酬も支払うことになる可能性もある。
- 4.3 耐用年数は、防犯カメラ5～7年、業務用SDカード2年、程度ではないかと考えられる。将来、カメラの更新のための予算措置も考えておく必要がある。
- 4.4 防犯カメラ設置の費用捻出方法として、(a)自治会保有の共用施設特別会計、(b)共用施設管理費の値上げ、が考えられる。(a)については「第27回定期総会議案書の内容の一部追加について、平成29年度収支決算報告の(5)」に記述されているが、この資金は将来、東・西集会所を建替える際に必要な資金として主に確保されている。しかし、何時工事をするか、両方の集会所を維持して建て替えるか、等については今後の自治会での検討による。(b)の値上げする場合は、該当する年度のみ3000円程度ではないかと考えられる。(a)と(b)のどちらにするかは、自治会の班長会の判断、または住民アンケートで決定することになる。
- 4.5 佐倉市には、必要な申請等を行うことにより防犯カメラを設置する自治体等に対して、5.4（資料6）と5.5（資料7）に示すように補助金制度がある。

#### 5. 関連法規等

##### 5.1 防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届（資料3）

- ・地方自治法に規定する団体（白銀ニュータウン自治会は該当する）が、防犯カメラを設置する場合は、市長に届ける必要がある。

##### 5.2 佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例（資料4）

- ・防犯カメラ設置及び運用基準を作成。（資料8を作成する必要がある）

- ・防犯カメラの設置場所、設置台数、撮影範囲を明確にする。(個人のプライバシー保護を重用視する観点)
- ・防犯カメラの設置場所の近傍に団体名を記した表示板を設置。(設置を知らせることによる抑止力効果)
- ・管理責任者と取扱担当者の指定。(映像データの確認を行う者を限定する目的)
- ・管理責任者及び取扱担当者以外の者は、防犯カメラ及び映像データを取り扱うことができない。ただし、やむを得ない事由のある場合、管理責任者の同意を得たときはこの限りでない。

#### 5.3 佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例施工規則(資料5)

- ・上記条例の補足規則

#### 5.4 佐倉市防犯カメラ等設置事業補助金 募集案内(資料6)

- ・佐倉市に申請書を提出することにより、カメラ1台につき設置に要する工事費を含めて費用の半額(最大20万円)が支給される。平成29年度の佐倉市の補助金の予算は200万円であった。平成30年度以降の申請については予算に関する情報は無いし、申請しても実際に補助金がいくら支給されるかは、他団体の申請状況を考慮して佐倉市が決定することになる。

#### 5.5 佐倉市防犯カメラ設置事業補助金の申請から交付までの流れ(資料7)

- ・補助金を申請する場合になすべきことが、時系列に書かれている。
- ・事前協議書、事業計画書、工事の実績報告書の提出など、佐倉市へ多くの報告義務がある。

#### 5.6 佐倉白銀ニュータウン自治会防犯カメラの設置及び運用に関する基準(案)(資料8)

- ・今後、防犯カメラ設置が決まって佐倉市に申請することになった場合、申請書には本基準の添付が求められる。
- ・佐倉市のホームページにひな形が掲載されており、本基準はそれに白銀自治会等の名前を当てはめた段階であるので、運用方法・体制や維持管理などの運営に関する条文を追加する必要がある。
- ・防犯カメラ及び映像データの取扱いの全部又は一部の委託を受けたものは、防犯カメラ及び映像データを取り扱うことができる。この場合、自治会は必要かつ適切な監督を行う。(業者委託を想定している)
- ・映像データの保存期間の規定(佐倉市の条例に保存期間は書かれていない。資料8に30日と書かれており、これは市の推奨案と考えられる。)

### 6. 防犯カメラ設置が自治会で決定した場合の検討事項

本検討委員会の役割は、前述のように防犯カメラ設置の案を提案書にて答申することであり、以下の6.1と6.2については作業項目を列挙するにとどめ、実際の作業を誰がどのような体制で実施するかは、自治会が判断するものとする。

#### 6.1 防犯カメラ設置工事に向けての作業

- ・設置に向けての費用の検討(防犯カメラの仕様、ポールを設置位置の決定、申請作業等に係わる業者の援助費用、等の見積条件を統一して各社に依頼する)
- ・設置費用の自治会承認と予算の確保(早くても平成31年度予算)
- ・設置工事の発注・検収
- ・関係機関等との協議(周辺住民、電力会社、警察、土地所有者、等)
- ・佐倉市への設置申請書類の作成(資料3&8、補助金申請なら資料6&7)

## 6.2 防犯カメラ設置後の運営に向けての検討事項

### ①運用方法・管理者

- ・管理責任者と取扱担当者の指定。前者を会長又は副会長、後者に統括管理人という案もだが、統括管理人にその作業を実施する時間的余裕がとれるのか検討の余地がある。
- ・管理責任者と取扱担当者の作業内容と義務を明確化する。守秘義務を伴った作業を実施するというのは大きな負担であり、報酬を支払わないとバランスが取れないという考え方もある。
- ・重要犯罪が発生した場合には、警察捜査のため映像データの提供が求められることが想定され、それに応じることになる。
- ・比較的軽微な犯罪の場合に、自治会が選定した管理責任者や取扱担当者が映像データのチェックをしようとしても、人や車の映像データから犯罪者を見分けるのは難しいので行わない。
- ・行方不明の子供や高齢者の捜索、不審者の特定、交通事故の状況把握などに利用することも考えられるが、佐倉市の条例で映像データの利用が制限されているので実施しない。
- ・映像データを保管するためのパソコンが必要であるが、自治会所有の共用パソコンを利用することが可能と思われる。ただし、共用パソコンの管理規則で東集会所以外での使用が禁止されているので、特例を設ける必要がある。

### ②維持管理

- ・カメラの点検（頻度・作業内容）、点検チェックシート作成、映像データの回収、等の作業を業者に委託するなら、費用が発生する。映像データ回収のため、SD カードをカメラから取り出すのに梯子を利用するのは危険作業となる。安全作業の励行という観点から、高所作業車を所有する業者に委託するべきである。
- ・故障かなと言う時の対応（維持管理を業者委託なら不要）。

## 7. その他（委員の個人的意見、等）

- ・本提案書を自治会に答申した後、自治会が防犯カメラを設置するかどうかを決定するにあたりどのような手順を踏むのかは自治会が決めることではあるが、H29/10/28 の住民アンケートで、防犯カメラの設置について検討委員会設置の賛否を問うたことを考えると、より重要事項である実際に防犯カメラを設置するかどうかを決定するにあたっては、再度住民アンケートを行う必要があるのではないかと。
- ・防犯カメラ運用を当該年度の自治会が受け入れた場合、その運用業務は後年の班長にも負担となるものである。ほんとうに自治会の業務として受け入れて良いかを考えるべきである。
- ・実行力のある運用体制を確立できなければ、カメラ映像だけを撮っても有効活用ができないことになる。
- ・監視カメラ（防犯カメラは監視カメラの目的を限定した一つの利用方法である）の設置数の増加は各国で進んでいる。イギリス全土に設置されている監視カメラの数は、2014 年時点で 590 万台（人口 11 人に 1 台）に達している。アメリカでも、2016 年時点で 3000 万台（人口 10.8 人に一台）以上が設置されているといわれている。アジアにおいても設置数の増加が進んでいる。中国では監視カメラの数が 2017 年 12 月現在 1 億 7000 万台（人口 8.1 人に 1 台）に達している。韓国では 2015 年 12 月時点で 800 万台（人口 6.4 人に 1 台）が設置されていると推測されている。日本では、2016 年現在 500 万台（人口 25.4 人に 1 台）以上が設置されているといわれている。（監視カメラ-Wikipedia-より）

- ・数年後、大きなテロなどが発生した場合など、国・市・警察などが防犯カメラ設置に向けて全国への普及に動き出す可能性がある。
- ・防犯カメラによる犯罪抑止効果を高めるため、①ダミーの防犯カメラ設置（佐倉市の条例の対象ではない）、②防犯灯のポールに「防犯カメラ設置地区」等のシール等を貼る（佐倉市の許可が必要）、といったことが考えられる。実際には、①はダミーカメラは数千円であるがポールの設置費用は1ヶ所当たり10～15万円は必要であるし、撤去するときのことまで考えると慎重にならざるおえない、②は比較的簡単であり白銀ニュータウン内の数十カ所に貼ることが可能、といったことも検討の余地があるかもしれない。
- ・H29/10/28に「防犯カメラ設置についての住民アンケートのお願い」が実施され、それに記載されたコメントとして、「前回、役員の皆様の努力で詳細な検討結果を住民に示して下さり、住民の負担が効果より大きすぎるのではとの感から、反対意見が多数を示したと記憶しています。今回、あえて再検討するのであれば、市の負担、住民管理負担軽減を前回より改善されるのであれば、賛成します」、また同様に「従前は設置反対で設置しない結果なのに、今回の設置提案理由が明確でない。引継ぎがあり、色々と協議を重ねたとあるが何をしたのか。」があった。両方とも重要な指摘であり、今回の検討委員会の課題というより、自治会の防犯交通委員会への宿題であるように思われる。

今回の設置検討の提案理由としては、前回の検討およびアンケート実施から約8年が経過しており、

- ① 防犯カメラ技術の進歩により、その性能の飛躍的向上とコストダウンの効果。
  - ② 防犯カメラの設置効果の社会的認知度の向上（カメラ映像が犯罪の解決に寄与したことが、テレビや新聞でたびたび見られるようになった）。
  - ③ 佐倉市が防犯カメラ設置に関する条例により、その設置を推奨するようになった。
- 等によるところが大きいと思われる。

以上

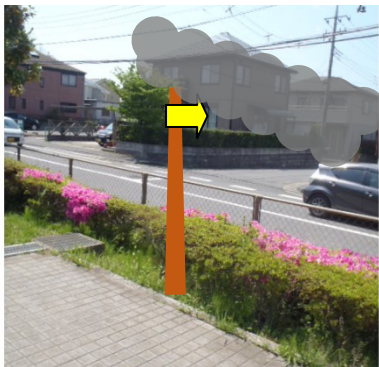
# 資 料

|                                         |            |
|-----------------------------------------|------------|
| 資料 1：防犯カメラ設置の候補地図面と周辺状況                 | ・・・資料 P.1  |
| 資料 2：防犯カメラ設置に関する各社の見積比較表                | ・・・資料 P.4  |
| 資料 3：防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届             | ・・・資料 P.5  |
| 資料 4：佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例          | ・・・資料 P.6  |
| 資料 5：佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例施工規則      | ・・・資料 P.8  |
| 資料 6：佐倉市防犯カメラ等設置事業補助金 募集案内              | ・・・資料 P.9  |
| 資料 7：佐倉市防犯カメラ設置事業補助金の申請から交付までの流れ        | ・・・資料 P.14 |
| 資料 8：佐倉白銀ニュータウン自治会防犯カメラの設置及び運用に関する基準（案） | ・・・資料 P.17 |

## 資料 1 防犯カメラ設置の候補地図面と周辺状況



- ・設置場所は、カメラ設置が決定したら土地所有者と協議し、設置の了解を得る必要がある。
- ・設置場所の撮影イメージの写真は、約 1.5m の高さからの撮影であるが、実際に防犯カメラは高さ 3.5m～4m の高さに設置されるので、もう少し見下ろした状況になる。

| 設置場所の候補地               | ポール設置場所の候補地の写真                                                                      | 設置場所の撮影イメージの写真                                                                       |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 消防署近傍の<br>1 丁目入口     |    |    |
| ② 大福寺公園前の<br>交差点       |   |   |
| ③ 白銀公園入口<br>(テニスの壁打ち側) |  |  |
| ④ 西集会所の裏山の<br>道路       |  |  |

| 設置場所の候補地          | ポール設置場所の候補地の写真                                                                      | 設置場所の撮影イメージの写真                                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑤ 尾山公園            |    |    |
| ⑥ ホンダ付近の<br>4丁目入口 |   |   |
| ⑦ 東集会所近傍          |  |  |

資料 2\_防犯カメラ設置に関する各社の見積比較表

| A社           |         |   |           | B社                      |         |   |           | C社                     |            |   |            | D社                                    |         |   |           |
|--------------|---------|---|-----------|-------------------------|---------|---|-----------|------------------------|------------|---|------------|---------------------------------------|---------|---|-----------|
|              | 単価      |   |           |                         | 単価      |   |           |                        | 単価         |   |            | フルハイビジョン<br>カードレコーダー<br>(KER-300B II) | 単価      |   |           |
| カメラ(SSCR-01) | 509,260 | 7 | 3,564,820 | SDカード内蔵カメラ<br>(YFG0630) | 275,000 | 7 | 1,925,000 | 街頭防犯カメラ<br>(GR-N720AS) | 600,000    | 7 | 4,200,000  |                                       | 220,000 | 7 | 1,540,000 |
| 取付用固定用具費     | 60,710  | 7 | 424,970   | ポール取付金具                 | 15,000  | 7 | 105,000   | ポール取付金具                | 23,000     | 7 | 161,000    | ACアダプター資材                             | 130,500 | 7 | 913,500   |
| 建柱工事費        | 132,500 | 7 | 927,500   | 屋外用耐熱対策制御盤              | 26,000  | 7 | 182,000   | 機器取付費                  | 266,650    | 7 | 1,866,550  | 建柱資材                                  | 58,950  | 7 | 412,650   |
| アタッチメント      | 10,000  | 7 | 70,000    | 盤用パーツ                   | 13,500  | 7 | 94,500    |                        |            |   |            | 建柱工事                                  | 23,600  | 7 | 165,200   |
| 取付・配線工事費     | 62,500  | 7 | 437,500   | Rooster RX210           | 100,000 | 7 | 700,000   |                        |            |   |            | 電気工事・申請費                              | 46,560  | 7 | 325,920   |
| 電気工事・申請費     | 67,500  | 7 | 472,500   | アダプター                   | 10,000  | 7 | 70,000    |                        |            |   |            | 諸経費                                   | 47,340  | 7 | 331,380   |
|              |         |   |           | LTE外部アンテナ               | 27,500  | 7 | 192,500   |                        |            |   |            |                                       |         |   |           |
|              |         |   |           | 工事費/運送設置費               | 484,429 | 7 | 3,391,003 |                        |            |   |            |                                       |         |   |           |
| 値引           |         |   | -12,350   | 値引                      | -80,000 | 7 | -560,000  | 値引                     | -1,348,248 | 1 | -1,348,248 | 値引                                    |         |   | -654,750  |
| 見積金額         |         |   | 5,884,940 |                         |         |   | 6,100,003 | 見積金額                   |            |   | 4,879,302  | 見積金額                                  |         |   | 3,033,900 |
| 特徴：地域事情に詳しい  |         |   |           | 特徴：工事費が割高               |         |   |           | 特徴：電気工事を含まない           |            |   |            | 特徴：実施予定、占用申請代行有り                      |         |   |           |
| 評価           | △       |   |           | ×                       |         |   |           | ○                      |            |   |            | ◎                                     |         |   |           |

見積額 19,898,145  
平均 4,974,536

- \* 見積書の工事費などは単価に直して比較表とした。
- \* このほか消費税が加算される。
- \* 補助金申請によりカメラ 1 台につき半額の最大 2 0 万円補助される。。

資料3\_防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届

別記

様式第1号（第3条関係）

防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届

年 月 日

（宛先）佐倉市長

所在地  
団体名  
代表者  
氏 名  
電 話

印

下記のとおり防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準を定めたので、佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例第7条第1項前段の規定により届け出ます。

記

|                                  |                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防犯カメラの適正な<br>設置及び運用に関する<br>基準の名称 |                                                                                                                                                                                                     |
| 防犯カメラ管理責任者                       | 氏 名<br><br>電 話                                                                                                                                                                                      |
| 防犯カメラ取扱担当者                       |                                                                                                                                                                                                     |
| 防犯カメラ設置年月日                       | 年 月 日                                                                                                                                                                                               |
| 防犯カメラ設置台数                        | 台                                                                                                                                                                                                   |
| 添付書類                             | <div><input type="checkbox"/> 防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準</div> <div><input type="checkbox"/> 防犯カメラの設置の場所及び撮影の範囲を記載した図面</div> <div><input type="checkbox"/> 設置する看板の図面</div> <div>※添付する書類にチェックをすること。</div> |

氏名を自署する場合は、押印を省略できます。

## 資料\_4 佐倉市条例第29号

### 「佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例」

#### (目的)

第1条 この条例は、防犯カメラが犯罪の防止に効果を発揮している一方で、防犯カメラの取扱いによっては市民等の人格的利益が侵害されるおそれがあることに鑑み、防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準（以下「設置運用基準」という。）を定めること等により、市民等の人格的利益の保護を図り、もって安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に資することを目的とする。

#### (定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 防犯カメラ犯罪を防止するため、公共の場所に向けて、特定の場所に設置されたビデオカメラその他の撮影機器であって、録画する機能を有するものをいう。
- (2) 映像データ防犯カメラに記録された電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。以下同じ。）であって、当該電磁的記録の映像から特定の個人を識別することができるものをいう。
- (3) 市民等市民及び市内に通勤し、通学し、又は滞在する者をいう。
- (4) 公共の場所道路、公園その他不特定多数の市民等が立ち入る場所であって規則で定めるものをいう。

#### (市の責務)

第3条 市は、防犯カメラによる犯罪の防止及び市民等の権利利益の保護に関する施策を総合的に推進するものとする。

2 市は、防犯カメラの取扱いに資するため、市民等に対し必要な情報の提供に努めるものとする。

#### (市民の役割)

第4条 市民は、この条例の趣旨にのっとり、市が行う防犯カメラに関する施策に協力するよう努めるものとする。

#### (防犯カメラを設置するに当たっての配慮)

第5条 防犯カメラを設置するものは、みだりに市民等の容貌及び姿態を撮影することのないよう留意するとともに、犯罪を防止するために必要な範囲内で防犯カメラを取り扱うよう配慮するものとする。

#### (市による設置運用基準の制定)

第6条 市は、市の設置する防犯カメラについて、設置運用基準を定めるものとする。

2 市は、防犯カメラの取扱いについて、設置運用基準を遵守しなければならない。

#### (地縁による団体等による設置運用基準の制定及び届出)

第7条 次に掲げる団体は、防犯カメラを設置しようとするときは、あらかじめ、規則で定めるところにより設置運用基準を定め、市長に届け出なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 地方自治法（昭和22年法律第67号）第260条の2第1項に規定する地縁による団体
- (2) 構成員の3分の2以上が中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項に規定する中小企業者であって、かつ、当該中小企業者の数が5以上である団体のうち法人格を有しないもの
- (3) 中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）第3条第1号の事業協同組合及び同条第1号の2の事業協同小組合
- (4) 商店街振興組合法（昭和37年法律第141号）に基づく商店街振興組合
- (5) 前各号に掲げる団体に準ずる団体であって、規則で定めるもの

2 前項前段の規定により市長に届け出て防犯カメラを設置した団体（以下「設置者」という。）は、防犯カメラの取扱いについて、設置運用基準を遵守しなければならない。

#### (設置運用基準に定める事項)

第8条 設置運用基準には、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 設置する防犯カメラの台数
- (2) 映像データの保存期間並びに保存及び廃棄の方法
- (3) その他適正な設置及び運用に関し規則で定める事項

#### (設置の表示)

第9条 市及び設置者は、設置した防犯カメラについて、市民等が認識しやすい場所に、防犯カメラを設置している旨及び市又は設置者の名称を表示しなければならない。

#### (取りやめ)

第10条 設置者は、防犯カメラの設置を取りやめたときは、規則で定めるところにより、速やかに市長に届け出なければならない。

#### (防犯カメラ管理責任者等)

- 第11条 市及び設置者は、防犯カメラ及び映像データの取扱いを適正に行うため、防犯カメラの管理に係る責任者（以下「防犯カメラ管理責任者」という。）を置かなければならない。
- 2 防犯カメラ管理責任者は、防犯カメラ及び映像データを取り扱う者（以下「防犯カメラ取扱担当者」という。）を指定しなければならない。
- 3 防犯カメラ管理責任者及び防犯カメラ取扱担当者以外の者は、防犯カメラ及び映像データを取り扱うことができない。ただし、緊急の場合その他やむを得ない事由のある場合であって、防犯カメラ管理責任者の同意を得たときは、この限りでない。
- 4 前項ただし書の場合において、防犯カメラ又は映像データを取り扱った者は、当該取り扱った内容を防犯カメラ管理責任者に遅滞なく報告しなければならない。
- 5 前各項に定めるもののほか、防犯カメラ及び映像データの取扱いに関し必要な事項は、規則で定める。  
（苦情の処理等）
- 第12条 防犯カメラを設置するものは、防犯カメラ及び映像データの取扱いに関し市民等から苦情の申出を受けたときは、これを誠実に処理するよう努めるものとする。
- 2 市長は、防犯カメラ及び映像データの取扱いに関し防犯カメラを設置するものと市民等との間に生じた苦情が適切かつ迅速に処理されるようにするため、苦情の処理のあつせんその他必要な措置を講ずるよう努めなければならない。  
（説明又は資料の提出）
- 第13条 市長は、第7条第1項各号に掲げる団体が同条から第11条までの規定に違反する行為をした疑いがあると認められるときは、その違反の事実を明らかにするために必要な限度において、説明又は資料の提出を求めることができる。  
（勧告）
- 第14条 市長は、第7条第1項各号に掲げる団体が同条から第11条までの規定に違反する行為をした場合において、当該行為が市民等の権利利益の保護に支障を及ぼし、又は及ぼすおそれがあると認めるときは、当該団体に対し、必要な勧告をすることができる。  
（公表）
- 第15条 市長は、次の各号に掲げる団体が当該各号に定める場合に該当すると認めるときは、規則で定めるところにより、これらの団体の名称、当該各号に該当する旨その他規則で定める事項を公表することができる。
- （1）第13条の規定により説明又は資料の提出を求められた団体正当な理由がなく説明若しくは資料の提出をせず、又は虚偽の説明若しくは資料の提出をした場合
- （2）前条の規定による勧告を受けた団体正当な理由がなく当該勧告に従わなかった場合
- 2 市長は、前項の規定による公表をしようとするときは、あらかじめ、当該公表をしようとする団体に対し、意見を述べる機会を与えなければならない。  
（委任）
- 第16条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、規則で定める。
- 附則
- （施行期日）
- 1 この条例は、平成28年11月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例の施行の際現に防犯カメラを設置している団体であつて、第7条第1項各号に掲げるものについては、同項の規定にかかわらず、平成29年1月31日までに設置運用基準を定め、市長に届け出なければならない。この場合において、当該届出をした日の前日又は平成29年1月31日のいずれか早い日までの間は、第7条第1項前段及び第9条の規定は、適用しない。

## 資料\_5 佐倉市規則第84号

### 「佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例施行規則」

(趣旨)

第1条 この規則は、佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例（平成28年佐倉市条例第29号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公共の場所)

第2条 条例第2条第4号の不特定多数の市民等が立ち入る場所であって規則で定めるものは、庁舎その他の市が所有する不動産（市以外のものが所有している不動産であって、市が地上権、地役権その他これらに準ずる権利を設定しているものを含む。）であって、不特定多数の市民等の利用に供されるものとする。

(設置運用基準の届出)

第3条 条例第7条第1項前段の規定による設置運用基準の届出は、防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届（別記様式第1号）により行うものとする。

2 条例第7条第1項後段の規定による設置運用基準の変更の届出は、防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準変更届（別記様式第2号）により行うものとする。

(設置運用基準に定める事項等)

第4条 条例第8条第3号の規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 防犯カメラの設置の目的
- (2) 防犯カメラの設置の年月日
- (3) 防犯カメラの設置の場所及び撮影の範囲
- (4) 防犯カメラの設置の表示に関する事項
- (5) 防犯カメラ管理責任者の設置及び防犯カメラ取扱担当者の指定に関する事項
- (6) 映像データの利用及び提供の制限に関する事項
- (7) 苦情の対応に関する事項
- (8) 前各号に掲げるもののほか、防犯カメラの適正な設置及び運用に関する事項

2 市長は、設置運用基準の制定に資するため、防犯カメラを設置しようとする団体に対し情報の提供、助言その他の必要な援助を行うものとする。

(取りやめの届出)

第5条 条例第10条の規定による防犯カメラの設置の取りやめの届出は、防犯カメラ設置取りやめ届（別記様式第3号）により行うものとする。

(防犯カメラ等の取扱いの委託等)

第6条 条例第11条第5項の規定により、次に掲げるものは、防犯カメラ及び映像データを取り扱うことができる。この場合において、市又は設置者は、防犯カメラ及び映像データの安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行うものとする。

- (1) 防犯カメラ及び映像データの取扱いの全部又は一部の委託を受けたもの
- (2) 地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者であって、公の施設に設置された防犯カメラ及び映像データの管理を行うこととされたもの

(公表の方法)

第7条 条例第15条第1項の規定による公表は、市の広報紙への掲載その他の適当と認められる方法により行うものとする。

2 条例第15条第1項の規則で定める事項は、公表の原因となる事実とする。

附則

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

## 佐倉市防犯カメラ等設置事業補助金 募集案内

### 1. 制度の目的

「佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例」(以下、「条例」といいます。)に基づき、市内の自治会・町内会・区が、犯罪の防止のため公共の場所に向けて設置する防犯カメラ(防犯カメラと併せて設置する防犯灯も可)の設置費用を補助し、安全で安心なまちづくりを推進することを目的とします。

### 2. 制度の概要

#### 補助の対象者

市内の自治会・町内会・区(以下、「自治会等」といいます。)

#### 補助対象となる防犯カメラ・防犯灯

補助対象となる防犯カメラ・防犯灯(以下、「防犯カメラ等」といいます。)は、次のとおりです。

##### 【防犯カメラ】

次の①～③すべてに該当する防犯カメラが補助対象となります。

①犯罪を防止することを目的として設置されるもの

②犯罪を防止するため、公共の場所に向けて、特定の場所に設置されたビデオカメラその他の撮影機器であって、録画機能を有するもの

※公共の場所とは、道路・公園など不特定多数の人が通行する場所をいいます。

③撮影された映像のうち、公道(不特定多数の人が通行する私道を含む。)の映像面積が2分の1以上であって、特定の個人、建物等を監視しないこと

※マンション等の内部や敷地、駐車場内を監視するためのカメラなどは、この事業の対象外です。

※リースやレンタルで設置するものは対象外です。

##### 【防犯灯】

防犯カメラと併せて設置し、次の①～③すべてに該当する防犯灯が補助対象となります。

- ①防犯カメラの視認性を向上させる照度（防犯カメラから4メートル先の歩行者の行動などが認識できる明るさがあること 0.24ルクス以上）を確保できるもの
- ②防犯カメラと同一の支柱に設置
- ③光源を防犯カメラのレンズから30cm以上離していること

#### 補助の対象となる経費

- 防犯カメラ等の購入および取付工事に要する経費
  - 防犯カメラの表示看板の設置費用
- ※表示看板の設置場所は、防犯カメラの柱に設置するようお願いします。

#### 補助の対象とならない経費

- 防犯カメラ等の設置場所に関する既存設備の撤去又は移設に要する経費
- 土地の造成又は土地若しくは建物等の使用、取得若しくは補償に要する経費
- 防犯カメラ等の維持管理及び保守管理に要する経費
- 防犯カメラに係るモニターの設置に要する経費

#### 補助額

- ①防犯カメラ 設置に要した経費の2分の1以内の額（1台につき20万円を限度）
  - ②防犯灯 設置に要した経費の2分の1以内の額（1基につき5万円を限度）
- ※①②とも1,000円未満の端数があるときは切り捨てます。

### 3. 補助金の交付の条件

次の条件を全て満たすことを交付条件とします。

- 交付の申請を行う前に、条例第7条1項の規定により、市長に対し設置運用基準を届け出ていること。  
※【設置運用基準の届出について】を参照のこと
- 防犯カメラ等の設置について、交付の申請を行う前に、設置場所の周辺の住民への説明を行うこと。
- 交付の申請を行う前に、防犯カメラ等の設置場所、管理運用等に関し、佐倉警察署長及び市長と協議をすること。
- 防犯カメラ等の設置に対し、他の法令等により、国、県又は市から同種の補助金の交付を受けていないこと。
- 補助事業等の実績、決算その他補助事業等の成果を記載した報告書を提出する時点において、自治会等の決算認定その他の確定手続が完了していない場合は、その完了後、

速やかに決算書など、その内容を証する書類を市長に提出すること。

- 補助対象経費により取得した財産（以下「取得財産」という。）については、常にその管理状況を明らかにすること。
- 補助事業等の完了後、市長から要求があったときは、取得財産の現況について報告すること。
- 取得財産については、補助事業等の完了後においても、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図ること。
- 取得財産を移設する必要がある場合又は破損等により使用することができなくなった場合は、市長にその旨とその後の対策について報告すること。
- その他市長が必要と認める条件

#### 【設置運用基準の届出について】

「佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例」第7条第1項の規定にある届出が必要となります。

「防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届」を危機管理室に提出してください。

- 添付書類
- ・ 防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準（設置運用基準）
  - ・ 防犯カメラの設置の場所及び撮影の範囲を記載した図面
  - ・ 設置する表示看板の図面

※設置後、上記の事項が遵守されなければ、「佐倉市補助金等の交付に関する規則」に基づき補助金の返還請求を行う場合があります。

## 4. その他

### 管理運用について

- 防犯カメラ等の維持・保守管理（電気料・保守点検・修繕料など）に必要な経費は、自治会等の負担となります。
- 条例及び自治会等で定めた設置運用基準により、管理運用を行っていただきます。
- 補助金の交付を受けた自治会等は、市長から要求があったときは、防犯カメラの運用状況等について、市長に報告する必要があります。

### その他

- 見積書の記載事項について、次の点にご注意ください。
  - ・ 交付申請時の見積書の日付は、申請日のおおむね1か月前から申請日の前日までとしてください。

- ・あて先は自治会等名としてください。
- ・見積書、請求書、領収書の金額が違う場合、補助することができません。

○市から「補助金交付決定通知書」が届いてから契約を行い、工事に着手するようお願いします。

○工事完了後は速やかに危機管理室までご連絡ください。市で設置状況の確認を行いますので、確認の際は立会いをお願いします。なお、工事着工日・完了日の日付を必ず控えておいてください。

○市からの補助金交付は、工事完了後になります。

○実績報告の際に提出する現況写真には、防犯カメラの表示も含めて提出するようお願いします。

## 5. 申請手続きについて

### 事業の連絡等

○平成29年度の防犯カメラ等の補助金の予算は200万円となっており、予算の範囲内での補助となります。

○平成29年度に補助金を活用し、防犯カメラ等の設置を希望される自治会等におかれましては、まず、危機管理室へその旨ご連絡をいただいた上で、市との打合わせをお願いします。

### 事前協議書の提出

○市との打合わせ後に「事前協議書」の作成をお願いいたします。

○事前協議書は、**平成29年6月2日（金）まで**に危機管理室へ提出してください。

※提出期限後に補助金を活用した設置を希望することとなった場合などは、個別に相談をお受けしますので、危機管理室へご連絡ください。

#### 【提出していただく書類】

事前協議書及び下記の書類

- ①防犯カメラ等の設置予定場所及び撮影範囲を記載した図面
- ②防犯カメラ等の設置予定場所の現況写真
- ③防犯カメラ等の購入及び設置に要する費用に係る見積書とその内訳書の写し

#### 【提出方法】

持参又は郵送

#### 【提出先】

危機管理室

### 交付申請書の提出

- 事前協議書を提出後、危機管理室と事前協議が完了しましたら、「補助金交付申請書」の提出をお願いします。
- 補助金交付申請書は、**平成29年8月10日(木)まで**に危機管理室へ提出してください。

#### 【提出していただく書類】

- ① 様式第1号「佐倉市防犯カメラ設置事業補助金交付申請書」
- ② 事業計画書
- ③ 収支予算書及び前年度決算書
- ④ 設置予定場所の現況写真
- ⑤ 防犯カメラの購入及び設置に要する費用に係る見積書並びにその内訳書の写し
- ⑥ 設置する防犯カメラの仕様書の写し
- ⑦ その他市長が必要と認める書類

#### 【提出方法】

持参又は郵送

#### 【提出先】

危機管理室

### 交付の決定について

- 平成29年9月中旬ごろに交付決定を行い、「補助金交付決定通知書」を送付いたします。

### 工事について

- 補助金交付決定通知がお手元に届いてから、契約を行い、工事着工をしてください。
- 工事完了後に「実績報告書」の提出をお願いします。

## 6. 平成30年度以降に補助金を活用して設置を希望する場合

平成30年度以降に設置を希望する場合は、設置を希望する年度の前年度の10月末までに危機管理室へご連絡ください。

お問い合わせ先

危機管理室 防犯・安全安心対策班

電話 043-484-6161

## 資料 7 佐倉市防犯カメラ設置事業補助金の申請から交付までの流れ

### 1 自治会等での事前準備

#### (1)設置の必要性の検討

犯罪の発生状況や犯罪防止の効果などにより、防犯カメラ設置の必要性について検討しましょう。

#### (2)設置場所・設置台数の検討

犯罪等の発生状況や防犯カメラの被写体となり得る人や建物等へのプライバシーへの配慮、土地所有者の意向などにより、設置場所と台数について検討しましょう。

#### (3)関係機関(警察署、道路管理者など)との協議・調整

設置場所等に関して警察との協議が必要となります。また、道路上に設置するのであれば、道路管理者(市道であれば市の土木管理課)へ相談の上、道路占用許可などを得る必要があります。

#### (4)設置場所周辺住民などへの説明

自治会員や設置予定場所周辺住民への説明を十分に行い、理解を得ましょう。

#### (5)設置費用の確認

設置工事業者から見積書などを取り寄せ、電気料金やメンテナンス料金も含めた費用面の検討を行いましょう。

#### (6)設置予算の計上

自治会等の予算に設置費用を計上し、承認を得ましょう。

### 2 事前協議書の提出

市(危機管理室)と打合せの上、「事前協議書」を作成し提出してください。

【書式】事前協議書(ひな形)

【添付書類】防犯カメラ等の設置予定場所及び撮影範囲を記載した図面

防犯カメラ等の設置予定場所の現況写真

防犯カメラ等の購入及び設置に要する費用に係る見積書とその内訳書の写し

### 3 設置運用基準の作成

自治会等の設置運用基準を作成し、市へ提出してください。

【書式】防犯カメラの適正な設置及び運用に関する基準届(様式第1号)

(佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例施行規則)

【添付書類】防犯カメラ設置運用基準書(ひな形)

防犯カメラの設置場所及び撮影範囲を記載した図面

防犯カメラ設置看板の図面

#### ○設置運用基準の内容

- ・設置する防犯カメラの台数
- ・記録した映像データの保存期間、保存や廃棄の方法
- ・防犯カメラの設置目的、設置年月日、設置場所、撮影範囲
- ・防犯カメラ設置の表示方法
- ・防犯カメラの管理責任者、取扱担当者

- ・映像データの利用及び提供の制限
- ・苦情の対応
- ・守秘義務 など

#### 4 交付申請書の提出

市との事前協議終了後、補助金の交付申請書を作成し、市へ提出してください。

【書式】 防犯カメラ設置事業補助金交付申請書(様式第1号)

【添付書類】 事業計画書(ひな形)

予算書及び前年度決算書

防犯カメラ等の設置予定場所の現況写真

防犯カメラ等の購入、設置工事見積書とその内訳書の写し

設置予定の防犯カメラ等の仕様書写し

その他市長が必要とする書類

#### 5 契約締結・工事着手

「補助金交付決定通知書」を市から受け取った後、設置工事の契約を締結し、工事に着手してください。

##### 《注意事項》

- ・工事着工日を記録(実績報告書作成時に必要)
- ・工事内容や金額が変更となる場合は、「補助事業変更申請書」(様式第3号)の提出が必要

#### 6 工事完了

工事完了後、市へ工事完了の報告をしてください。市は自治会等の立会いの下、工事内容の確認を行います。

##### 《注意事項》

- ・工事完了日を記録(実績報告書作成時に必要)

#### 7 実績報告書の提出

市による工事内容の確認後、実績報告書を作成し、市へ提出してください。

【様式】 補助金実績報告書(様式第4号)

【添付書類】 事業報告書

決算書

防犯カメラ等設置後の現況写真及び防犯カメラ設置表示板の現況写真

防犯カメラ等設置工事契約書の写し

防犯カメラ等設置工事費領収書及びその内訳書の写し

設置した防犯カメラの撮影映像を印刷したもの

その他市長が必要とする書類

#### 8 補助金交付請求書の提出

「補助金確定通知書」を市から受け取った後、補助金交付請求書を作成し、市へ提出してください。

【様式】補助金交付申請書(様式第6号)

9 補助金の受領

補助金交付請求書に記載された口座へ、市から補助金を入金します。

## 資料 8\_佐倉白銀ニュータウン自治会防犯カメラの設置及び運用に関する基準（案）

（趣旨）

第1条 この基準は、佐倉市防犯カメラの設置及び運用の適正化に関する条例（平成28年佐倉市条例第29号）第6条第1項の規定に基づき、佐倉白銀ニュータウン自治会（以下自治会という。）が公共の場所に向けて設置する防犯カメラの設置及び運用に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置目的）

第2条 自治会が設置する防犯カメラの設置目的は、佐倉白銀ニュータウンにおける犯罪を防止するものとする。

（設置運用基準の遵守）

第3条 自治会は、取り扱う映像データ及びその記録媒体について、漏えい、盗難、毀損、紛失等の防止その他適正な管理のため、この基準を遵守しなければならない。

（設置の場所等）

第4条 自治会は、みだりに市民等の容貌及び姿態を撮影することのないよう留意するとともに、犯罪を防止するために必要な範囲内で防犯カメラを取り扱うよう配慮するものとする。

2 防犯カメラの設置年月日及び設置台数は、別表のとおりとする。

3 設置の場所及び撮影の範囲は、別表及び別紙図面のとおりとする。

（設置の表示）

第5条 自治会は、設置した防犯カメラについて、市民等が認識しやすい場所に防犯カメラを設置している旨並びに自治会の名称及び連絡先を表示しなければならない。

（防犯カメラ管理責任者等）

第6条 自治会は、防犯カメラ及び映像データの取扱いを適正に行うため、防犯カメラ管理責任者を置かなければならない。

2 防犯カメラ管理責任者は、別表のとおりとする。

3 防犯カメラ管理責任者は、防犯カメラ取扱担当者を指定しなければならない。

4 防犯カメラ管理責任者及び防犯カメラ取扱担当者以外の者は、防犯カメラ及び映像データを取り扱うことができない。ただし、緊急の場合その他やむを得ない事由のある場合であって、防犯カメラ管理責任者の同意を得たときは、この限りでない。

5 前項ただし書の場合において、防犯カメラ又は映像データを取り扱った者は、当該取り扱った内容を防犯カメラ管理責任者に遅滞なく報告しなければならない。

（防犯カメラ等の取扱いの委託等）

第7条 防犯カメラ及び映像データの取扱いの全部又は一部の委託を受けたものは、防犯カメラ及び映像データを取り扱うことができる。この場合において、自治会は、防犯カメラ及び映像データの安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行うものとする。

2 前項前段に規定するものは、防犯カメラ管理責任者の選任及び防犯カメラ取扱担当者の指定を行い、自治会に報告をするものとする。その者を変更したときも、同様とする。

（映像データの保存期間並びに保存及び廃棄の方法）

第8条 防犯カメラ管理責任者及び防犯カメラ取扱担当者は、映像データ及びその記録媒体について、漏えい、盗難、毀損、紛失等の防止その他適正な管理のために次に掲げる措置を講じなければならない。

（1）映像データは、防犯カメラ管理責任者及び防犯カメラ取扱担当者以外の者が見通すことのできない安全で管理が可能な場所で取り扱うこと。

（2）映像データは、撮影時の状態で保管すること。

（3）映像データの表示又は保存をする場合において、通信回線と接続している電子計算機を使用するときは、映像データの漏えいを防ぐための安全対策の措置を講ずること。

（4）映像データの記録媒体の保存に際しては、施錠設備のある強固な金属ボックス等に収納する等盗難の防止のために必要な措置を講ずること。

（5）映像データの保存期間は、録画した日の翌日から起算して30日以内とすること。ただし、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（6）保存期間を経過した映像データ及び防犯カメラを取りやめる場合の映像データは、速やかに消去又は記録媒体

の破碎、溶解その他の方法により、再生ができないよう適切に処理すること。

- (7) 映像データを提供した場合において、記録媒体の返却があったときは、記録媒体の破碎、溶解その他の方法により、記録媒体から映像データの記録を完全に消去すること。

(映像データの利用及び提供の制限)

第9条 防犯カメラ管理責任者及び防犯カメラ取扱担当者は、次に掲げる場合を除き、映像データを防犯カメラの設置目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(1) 法令等に定めがあるとき。

(2) 人の生命、身体又は財産を保護するため、緊急かつやむを得ないと認められるとき。

2 映像データの閲覧及び提供に当たっては、提供を受ける者の機関等からの文書での依頼並びに本人確認ができるものを求める等身元の確認を行うとともに、提供を受ける者の機関等の名称、提供対象となる映像データの日時等を記録しておくものとする。この場合において、記録した文書等については、閲覧を行った日又は提供した記録媒体の返却があった日から1年間保存するものとする。

3 防犯カメラ管理責任者及び防犯カメラ取扱担当者は、前項の規定により映像データを提供しようとするときは、相手方に対し次に掲げる事項を遵守するよう求めるものとする。

(1) 映像データを適正に管理すること。

(2) 映像データを目的以外の用途に利用しないこと。

(3) 映像データを第三者へ無断で提供しないこと。

(4) 映像データが必要でなくなったときは、速やかに自治会に記録媒体の返却をすること。

(5) 映像データを無断で複写しないこと。

(守秘義務)

第10条 防犯カメラ管理責任者、防犯カメラ取扱担当者並びに防犯カメラ及び映像データを取り扱った者は、防犯カメラの運用により知り得た情報を漏らしてはならない。

(苦情の対応)

第11条 防犯カメラ管理責任者は、防犯カメラ及び映像データの取扱いに関し市民等から苦情の申出を受けたときは、これを誠実に処理するよう努めるものとする。

2 苦情の申出を受けたときは、その内容及び対応を記録するものとする。この場合において、記録した文書については、対応が完了した日から1年間保存するものとする。

附 則

この基準は、平成〇〇年〇〇月〇〇日から施行する。